

平成 27 年度甲府市総合計画審議会 委員委嘱式及び第 1 回審議会 議事録

日 時：平成 27 年 6 月 4 日（木） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 20 分
場 所：甲府市役所本庁舎 6 階大会議室
委 員：出席（24 名）— 丸山委員（会長）、大塚委員（副会長）、浅利委員、雨宮委員、池上委員、石原委員、市川委員、大木委員、奥山委員、菊地委員、窪寺委員、小松委員、齋藤委員、佐々木委員、佐藤委員、末木委員、土橋委員、中澤委員、兵道委員、深沢委員、松野委員、望月委員、森委員、山中委員
欠席（3 名）— 池田委員、牛奥委員、長田委員
市 長：樋口市長、山本副市長
事 務 局（企画部企画総室総合計画課）：萩原企画部長、窪田企画総室長、野村企画財政室長、下山財政課長、深澤政策課長、萩原総合計画課長、武川総合計画担当参事、長田総合計画担当参事、里吉総合計画課課長補佐、鷹野総合計画課係長、宮野総合計画課係長、佐久間総合計画課係長
コンサルタント（システム科学コンサルタンツ株式会社）：横山、佐久間、古谷
傍 聴：なし
報 道：3 名（山梨日日新聞記者 1 名、朝日新聞記者 1 名、読売新聞記者 1 名）

■議事内容

【委嘱式】

1. 開会

事 務 局：本日はお忙しい中、お集まり頂きまして誠にありがとうございます。只今より甲府市総合計画審議会の委員委嘱式を始めさせていただきます。私は、委嘱式の進行を務めます、企画部の企画総室室長の窪田と申します。よろしくお願ひ致します。本日の日程であります、概ね 16 時頃までを予定しております。まず、委嘱式を行い、その後休息を挟みまして、第 1 回の審議会とさせていただきますので、よろしくお願ひ致します。なお、席順はお名前の 50 音順とさせていただきますのでご了承ください。

2. 委嘱状の交付

事 務 局：市長から皆様にお一人ずつ委嘱状をお渡しさせていただきます。こちらでお名前をお呼びいたしますので、その場でご起立頂き、お受け取り下さい。

《委嘱状の交付》

事 務 局：本日、都合により 3 名の委員の方々につきましては欠席されておりますが、全員で 27 名の委員構成となっておりますので、よろしくお願ひ致します。

3. 市長挨拶

市長：皆様こんにちは。本日は大変お忙しい中、甲府市総合計画審議会・委員委嘱式にご出席を賜り、深く感謝申し上げますとともに、委員へのご就任を快くお引き受け頂きまして誠にありがとうございました。さて、私は今年の2月2日に多くの市民の皆様方のご支持を賜り、第39代甲府市長に就任をさせて頂きました。就任後、4か月が経過し、本市を取り巻く環境が、厳しさを増していることを日々実感しており、他の自治体と同様に人口減少や少子高齢化の進行する中、都市の活力の維持及び安定的な行政サービスの提供、更に、老朽化する公共施設への対応など、大きな課題を抱えております。自然災害に対する備えなど、暮らしの安全・安心対策や、持続可能な社会の形成に向けた地球環境問題への積極的な取り組みも求められております。

このような中、本市のまちづくりの指針となる（仮称）第六次甲府市総合計画の策定にあたりましては、先人たちの弛まぬ努力によって築かれてきた、この素晴らしいまちを守り、育て、誰もが愛し、誇れるまちにしていかなければならないと考えております。加えて、アンケート調査やワークショップを通じて、市民の皆様のご意見を頂く中で、市民の皆様が生き生きと、住み慣れた地域で、安心して生活できるようにしたい、快適な生活環境を整えて、本市の魅力を高め、交流と賑わいを一層創出していききたい、こうした思いを込めて計画案を検討して参りました。皆様方には、10年先を見据えた、長期の計画であり、また市民の皆様と一緒に未来の甲府市をつくり上げていく計画となりますので、それぞれのお立場から忌憚のないご意見を賜りますようお願いを申し上げる次第でございます。結びになりますが、改めて今後の審議会へのご協力をお願い申し上げますとともに、皆様方の更なるご健勝、ご活躍を心からご祈念申し上げまして私の挨拶とさせていただきます。よろしくお願い致します。

4. 会長・副会長の選出

事務局：会長、副会長の選出をして頂きたいと思っております。事前に送付させて頂きましたが、資料2「甲府市総合計画審議会条例」第5条に「委員の互選により、会長及び副会長を置く」と記載しております。選出につきまして、いかが取り計らったらよろしいでしょうか。どなたかご意見があればお願いしたいと思います。

《事務局一任との声あり》

事務局：只今、事務局一任とのご発言がありましたが、そのようにさせて頂いてよろしいでしょうか。

《拍手》

事務局：ありがとうございました。それでは事務局より説明をお願いします。

事務局：事務局案でございますが、会長につきましては、甲府市環境審議会の会長や甲府市保健福祉計画策定市民懇話会の会長を務めるなど、豊富な経験と学識をお持ちの山梨学院大学の丸山教授に、また、副会長につきましては、甲府市地域自立支

援協議会の会長などを務めて頂いております山梨県立大学の太田准教授にお願いしたいと考えております。ご承認賜りますようお願い申し上げます。

事務局：只今、事務局案をお示しさせていただきましたが、他にご意見がなく、皆様にご異存がなければ、拍手を持ってご承認して頂きたいと思っております。

《拍手》

事務局：ありがとうございました。それでは、皆様のご承認が得られましたので、会長は山梨学院大学の丸山様、副会長は山梨県立大学の太田様をお願いします。それでは早速ではありますが、只今選出されました会長、副会長を代表致しまして、会長の丸山様にご挨拶を頂きたいと思っております。

5. 会長挨拶

会長：こんにちは。只今選出して頂きました、山梨学院大学の丸山と申します。実は私の専門は政治哲学でして、行政の中身について詳しいことを知っている訳ではありません。ただ、先ほどご紹介があったように、他に福祉や環境関連の審議会の会長を結構長くやっているものですから、行政職員よりも詳しいこともありまして、それでおそらく会長をやったらどうかということだと思っております。

委員の方々をお願いしたいのは、経済の世界の考え方で、短期は1年以内、中期は約3年、長期は3年以上を指しますが、誰が考えても1年先を読むことも難しいのに、10年先を読むことが果たして人間にできるのか、というように思うかと思っております。実は総合計画は、必ずしも10年計画でなくてもよくて、市によっては、市長の4年の任期に合わせて8年の計画とし、4年目で中間の総括をして、市長が再任されればその計画に対する市民の了解を得たとみる考え方もあります。そういう点でみると、10年計画はやや変則的ですが、いずれにしても私たちが相当長い期間を想定しながら考えていく場合は、経済の世界よりもむしろ政治の世界の方が相応しい訳です。しかも、この場にいらしている方は、それぞれの分野で様々な知見と経験をお持ちの方々です。職員も知見を持っていますが、ジェネラリストですから、全てのことを分かっている訳ではありませんので、むしろここに集まれた委員の方が、逆に詳しいこともあります。そういう知恵をこの場所で発揮して頂いて、職員が作る原案に対して、ぜひ忌憚のないご意見を頂いて、素晴らしい計画ができれば良いかなというように思っております。ぜひ委員の方々のご協力をお願い申し上げます。

6. 諮問

事務局：新たな総合計画の策定にあたりまして、基本となるべき事項についての諮問を市長から審議会にさせていただきます。代表して会長にお受け取り頂きます。

《諮問書の手交》

【第1回審議会】

1. 開会

事務局：第1回の総合計画審議会を始めさせていただきます。まず初めに、本日出席の職員を紹介させていただきます。

《事務局職員紹介》

事務局：それでは先ほど選出されました丸山会長を中心に、本審議会を進めて頂きたいと存じます。どうぞよろしくお願い致します。

(1) 会議の進め方について

会長：最初に議事の1. 会議の進め方について事務局よりご説明をお願いします。

《事務局説明》

会長：ポイントだけ確認しますと、審議会条例では部会を置くことができるという規定になっていますが、本審議会では部会は設置しないということ、また会議の公開の関係では、途中での入退場も結構ということ、議事録については、委員に対する確認の時は、委員氏名を掲載しますが、ホームページ上での公開では委員氏名を省くということだと思っておりますが、以上の説明に対してご意見・ご質問はありますか。

《質問なし》

(2) 諮問事項の説明

会長：次に、議事の2. 諮問事項について事務局から説明をお願いします。

《山本副市長説明》

会長：以上の説明に対して、ご意見・ご質問がありますか。

《質問なし》

(3) 策定方針について

会長：続きまして、議事の3. 策定方針について事務局から説明をお願いします。

《事務局説明》

会長：以上の説明に対して、ご意見・ご質問がありますか。委員の方にとっては、スケジュールが一番重要かと思うのですが、いかがでしょうか。

《質問なし》

(4) 第5次総合計画の検証結果

会長：続いて、議事の4. 第五次甲府市総合計画の検証結果について事務局から説明をお願いします。

《事務局説明》

会長：以上の説明に対して、ご意見・ご質問がありますか。

《質問なし》

(5) 市民ワークショップの開催結果

会 長：次に議事の5. 市民ワークショップの開催結果について事務局から説明をお願いします。

《事務局説明》

会 長：今の説明に対して、ご質問等ございますか。ご意見もあれば含めて結構ですが、いかがでしょうか。

《質問なし》

会 長：私から質問を1つしてもよろしいでしょうか。この市民ワークショップからの提言は、今後の計画策定の際に、市役所ではどのような使い方を想定しているのでしょうか。各課に提言内容を提示するなど、もし決まっていたら教えて頂きたい。

事務局：本審議会と並行して、庁内で検討する組織として、総合計画策定委員会と、更にその下に総合計画策定プロジェクトチームという庁内の組織を構成してございまして、そちらの方に提言の内容を報告した上で本日の審議会でお示ししております。それぞれ事業展開の参考にできるものは参考にして頂き、あわせてこれから策定していく総合計画の中で、活用できるものは位置付けていきたいと考えております。

会 長：今後、私たちが考える上で、細かく読むと、結構面白いアイデアがあるので、ぜひ膨らませて頂けると良いかなと思いました。

(6) 各種アンケートの調査結果

会 長：今度は議事の6. 各種アンケートの調査結果について、説明して頂けますか。

《事務局説明》

会 長：今のアンケート結果について、ご意見・ご質問等ございますか。

委員：アンケート結果について、将来の甲府は、安心、安全のまちづくりをすることが基本で、どのようにしたらこの安全を守っていけ、甲府のまちに住んでみたくなるかなど、色々な設問がありました。私が以前から考えていたのは、将来この地域はこうしたことをやっていくという、もっと地域性を活かした施策をやるべきだということです。それらの地域性をまとめれば、甲府の将来像になる気がします。このアンケートだと、かなり勉強してこないで甲府の将来像が浮かんできません。例えば中道なら将来は観光や、農業が盛んということが言えて、そのように市内をいくつかのエリアに区分し、エリア別にお金を投入してまちづくりをする。それが全部集まった時に甲府市の将来像が見えてくるのかなと思います。少子高齢化の中でどうしたら甲府市がみんなに好かれて住みよいまちになるのか。空き家バンクの問題もありますが、甲府市が将来5年10年先どうやっていくのかを、東西南北などエリア別に中心となる施策を決め、それを集めたものを甲府市の将来像として示すべきでしょう。人がいっぱいいるからといって中心街にば

かり力を入れるのではなく、もっと議員などに地域の視察をしてもらって、将来の甲府像を見てもらえば良いのかなと思います。私たち委員も同様です。その方が効率良く、まちとして生き残れるのかなと感じました。雑ぱくで申し訳ないですが、そういうことをずっと感じています。

会 長：こういうアンケートの方法が果たして本当に良いのか、というご指摘も含んでいたかと思います。確認したいのですが、市民、通勤者、職員に対し同じ設問で、結果が違う項目がありますよね。施策の方向など設問が同様で、違いが出るのは面白いことなので、せっかく委員に見てもらうなら、3つの結果を並べて図表にすると違う見方もできるのかなと思います。資料の見せ方の話だと思うのですが、そういうことはできないのでしょうか。

事 務 局：アンケートごとの違いということでお答えさせていただきますと、同じ設問で、比較できるものにつきましては、一覧の表や図にして次回以降お示しをさせていただきますと思います。

それから委員のお話でございますが、私の説明が雑ぱくで、説明不足がございましたことを、まずお詫び申し上げたいと思います。地域性に関しましては、例えば、市民アンケートの42～43ページのリニア中央新幹線の設問をご覧頂きますと、男女別、年齢別、居住地域別で結果を分析しており、地域で何を求めるかが違ってくことはアンケート結果から把握できると思います。従いまして、総合計画におきましては甲府市全体の計画となりますが、分野別の計画、例えばリニア中央新幹線に特化した計画などでは、これらを参考にして頂きながら計画を作り上げていくことになろうかと思えます。貴重なご意見をありがとうございました。

委 員：今回、第六次甲府市総合計画審議会のご案内を頂いた時、メンバーを拝見しましたら、第五次も一緒に委員をさせて頂いた方がいらっしゃいまして、何か自分たちの責任のように感じました。全ての資料に目を通して参りましたが、10年経った今も、まったく同じような提言、意見が繰り返されるのかなと思いつつ参りました。もちろん目標を持って何かを進めることはとても大切で、何年経ってもあまり変わらないかとは思いますが、第五次計画策定時と現在で何が一番違っているのか、また今後、例えばリニア中央新幹線の開業など、甲府市にとって何が違ってくるのか、そういうことを最初に皆で考えてから色々な発言をしていかないと、10年前の意見とあまり変わらないのではないかと少し懸念しております。

会 長：アンケートそのものというよりは、私たちの姿勢に関する質問だと思うのですが、今のご意見について、市の方で答えられることがあったらお願い致します。

事 務 局：本日お示しさせて頂きました資料は、まず総合計画を策定するにあたりましての基礎調査ということで、前回の計画はどうだったのかという検証部分と市民の皆様のお考えを、結果として資料で説明させて頂いたということでございます。本市を取り巻く環境が、どのように変わって、何が大事なのか、というご意見でご

ございましたが、市民の皆様の声を踏まえて事務局が整理したものを、次回提示させて頂く予定でございますので、そちらをご覧頂きながらご意見を賜りたいと思っております。

委員：アンケートの結果によりますと、甲府良いところ住み良いところ、と非常にアイデンティティが高いと感じました。このことは県の調査でも同様だと思います。ただ、非常に住み良いところだと言っても、実態は人口が減少し、他県から移って来る人は少ないので、やはり甲府市なり山梨県に欠けているところがあるのではないかと感じます。これから審議会が始まりますが、その辺を皆で考える必要があると思います。私たちが考える前に本当は行政側で考えないといけないと思いますが、審議会でそこを考えていかないと、第五次計画策定時と同じようなテーマが継続して出てくるだけになります。もちろん行政は継続するものですから、全て止めてしまう訳にはいきませんが、少なくとも変革があって、新しいところに伸びていく芽がないともったいない気がします。

会長：審議会全体の位置付けの問題だと思いますので、できればアンケートのことでご意見があればお聞きしたいのですが、今のご発言について市の方で答えられることはありますか。

事務局：ご意見をありがとうございます。市長も先ほど申しておりましたけれども、人口減少は甲府市にとりまして最重要課題ということになりますので、市では、そのための対策本部を立ち上げて、全庁的に取り組みを始めたところでございますが、審議会の皆様からもご意見を頂きたいと考えております。

会長：アンケートについての質問はよろしいでしょうか。アンケートについては今後、色々な場面で私たちも時間をかけて読んでいきたいと思っておりますので、委員の方々には調査結果について、ぜひこの後に時間をとって見て頂ければと思います。

(7) 審議会の日程

会長：それでは、次の議事に移りたいと思います。議事の7. 審議会の日程について事務局からご説明をお願いします。

《事務局説明》

会長：開催日程及び各回の大まかな内容について説明がありましたが、今の説明について何か質問等ございますか。

委員：第2回審議会では、第1回審議会の議事録の確認があり、序論の審議に入ることですが、その時にはもちろん本日出たご質問等に対する市からの回答が出てくると考えてよろしいでしょうか。

会長：本日の事務局の回答も議事録には掲載されるのですが、そういう意味ではなく、更に何か回答があるという意味でしょうか。

委員：アンケートの掲載方法のような話なのですが、それが審議の対象になっていく訳ですから良いのですよね。

- 会 長：議事録の確認は、各委員の発言の趣旨が間違っていないかを見るものです。それから事務局の回答についても確認して、更に事務局にご質問されたい場合は、次回の序論の審議において、質問や議論ができるのではないかと思います。
- 委 員：次回から序論ということで、本格的な内容に入っていく訳ですが、本日頂いた前回計画の検証結果やアンケート調査結果から、これからの色々な課題が読み取れるのだと思います。序論を作って頂く際に、市民ワークショップとアンケート調査の結果から見える課題を、それぞれ分かりやすくお示し頂ければ非常にありがたいです。資料を個別に全部見ていくと膨大な時間がかかりますので、課題と序論の関係について、簡単な文言だけでも結構ですので、分かりやすい資料を作って頂きたいなと思います。よろしくお願ひします。
- 会 長：序論を提示する際に、序論の元になった根拠について、市民ワークショップやアンケート調査の結果を事務局はどのように解釈したのか、担当部署はどういう考え方に立ったのか、ということが同時に見えるような資料も一緒にあると良いのではないかと、というご意見だと思うのですが、いかがでしょうか。
- 事 務 局：序論には、本市を取り巻く状況や環境に、市民の皆様のお考えや意見も含まれます。全てという訳にはいきませんが、主だったものにつきましては、そういった市民のお考えなどを中身に盛り込みながら、本市にとっての課題の洗い出しに用いたいと考えています。
- 会 長：ご意見としては、序論の文章の裏面等に、検討結果のメモのような資料がついてると、委員にとって分かりやすいのではないかと、ということですが、いかがでしょうか。
- 事 務 局：どのアンケートのどの部分ということが、分かるような形になっていければよろしいのでしょうか。
- 委 員：例えば、人口減少を何とかしなくてはいけない、といった課題を提示し、その課題を解決することによって、甲府市を 10 年後にこういう姿に導いていくと考えると、果たしてその課題をどのように提示したのか、といったことを見ていきたいです。先ほどのアンケートの調査結果から多くの方が共通して感じている課題が見えてくる訳ですから、市民の皆様も同じように課題として感じていらっしゃるのか、あるいは行政側の都合で課題を提示したのかなど、課題を提示する際に、バックボーンとなっているものを見たいということです。
- 会 長：資料の提示の仕方に関するご意見でしたが、他にご意見、ご要望はありませんでしょうか。
- 次回は序論の審議となりまして、問題意識に関わる一番重要な話となります。この市が 10 年後まで抱えていく課題をどこまで現実的なものと考えていくかというところが、今回の計画の一番大きなポイントだと思いますので、委員の方々も、それぞれ問題意識を持って市の提案を読んで頂ければと思います。

(8) その他

会 長：その他について、委員の方から何かございますか。

《質問なし》

会 長：事務局から何かございますか。

事 務 局：次回の審議会では、総合計画の序論と体系図についてご審議頂く予定でございます。序論とは、基本構想につながる時代の潮流や本市のまちづくりの課題をまとめたものです。体系図は、本日お配りいたしました第五次甲府市総合計画の概要版のように、新たな総合計画の全体の構成を示すものであります。資料につきましては、日時が決まりましたら事前に郵送させて頂きたいと考えておりますので、具体的な日時についてお決め頂ければと思います。

会 長：事務局から次回の日程を決めて欲しいとの要請がありましたが、事務局の方で具体的な日程があれば、まずそれを提案して頂きたい。

事 務 局：事務局からは第2回の審議会を6月下旬ということでお示ししましたが、具体的には6月30日(火)の、本日と同じ午後1時30分から2時間半程度開催したいと考えておりますが、いかがでしょうか。

会 長：具体的に6月30日午後1時30分からという提案がありましたが、今の日程提案についてご意見等ありますか。

《意見なし》

会 長：それでは、事務局から提案のあった6月30日午後1時30分からということで進めたいと思います。事務局の方はよろしいでしょうか。

事 務 局：ありがとうございます。それでは、次回6月30日午後1時30分ということで準備をさせていただきますので、何卒よろしくご出席のほどお願い致します。

会 長：これで本日の審議は終わりたいと思います。次回まで約1か月ありますが、色々なところにアンテナを張っていらっしゃる方が多いと思いますので、色々な方の話や、あるいは今日配られた資料等をじっくり読んで頂いて、次回の審議に臨んで頂ければと思います。本日はありがとうございました。

以上